
1. 鉄骨上の作業員は、安全帯を親綱もしくはタラップ等に確実に取り付下落防止とする。
2. 鉄骨上の作業員道具（ラチェット・ハンマー等）は紐付きとし道具の落下防止とする。
3. クレーン等の機橋周辺にバリケードを設置し立ち入り禁止とする。
4. 建方作業の各フロアは、立上禁止としバリケードにて表示をする。
5. 鉄骨上作業員はストックヤードを巡回者及び移動式クレーンオペレーターとの連絡は無線類により確実に行う（復唱を原則とする）。
6. 建方時のボルト仮止めは、設計本数の3分の1以上かつ2本以上とする。
7. 昇柱は安全フックを使用する。
8. 梁の吊上げには梁吊り金具を使用する。

10分間の平均風速が、
10m/S以上の強風時は作業中止とする

```

graph TD
    A[移動式クレーンオペレーター] ---|無線| B[建方合図者]
    A ---|無線| C[作業主任者]
    B --- D[ストックヤード合図者]
    C --- D

```

丸棒φ9
◎1200

工場溶接

梁下フランジ

工場溶接

ステーション

鉄骨柱

鉄鋼助付用アンカー鉄筋
十分に注意して溶接する

欄上部には視網を張る
ための柱を設置

フック

安全ブロック

安全帯

鉄骨柱用安全タラップ

タラップ 300 @

視網

縦視網

鉄鋼助付金具及び昇降設備欄
鉄骨柱方時の昇降の際は

スプライスプレート
ボルト締め

鉄骨柱

JOINT

柱
K
柱

エレクションピース
工場留め

柱の玉掛け、柱を起こす

柱をセットし、ボルトを締付ける

柱以下繰り返し、次に梁の取付

梁の玉掛けを行う

上方よりセットし、ボルト締め

A horizontal beam is shown with a downward-pointing arrow at its center, representing a point load.

